

CONTENTS	令和4年度 西播地区市民公開講座災害研修会に参加して	1
	第49回兵庫県医療職団体協議会合同研修会が開催されました、 2022年度タスク・シフト/シェア厚生労働大臣指定講習会を終了して	2
	第41回福見秀雄賞 授賞、タスク・シフト/シェア〜一歩先の業務へ〜 術中モニタリング編	3
	#研究班、会誌「HYOGO JOURNAL」論文投稿のススメ、行事・求人案内	4
	会員グルメ情報	5

組織

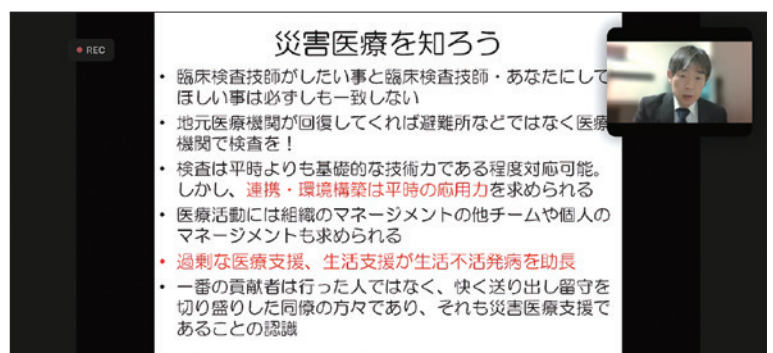
令和4年度 西播地区市民公開講座災害研修会に参加して

水田 裕一 会員 (姫路赤十字病院)

2月18日にWebにて行われた令和4年度西播地区市民公開講座災害研修会に参加させて頂きました。今回の災害研修会では3演題の講演があり、熊本の震災や広島の高雨被害での活動報告から、災害の現場での検査以外の関わり方、また緊急事態宣言下における医療人のあり方について姫路市長のご講演もあり、それぞれの演題で災害の現場での臨床検査技師のあり方について詳しく学ぶことができました。

中でも笹木優賢先生の被災地でのDVT検診の活動報告についての講演が、普段超音波検査に携わっている者として大変興味深いものでありました。講演内で驚いた内容として、災害関連死が直接死と比べ4倍に上るといったもので、避難所といった血栓リスクが高まる環境の中でDVT検査の重要性を再認識させられました。また体勢や照明など普段とは異なる環境の中での検査、時間が限られているため、検査を行いながらのDVTの予防指導や、弾性ストッキング指導を並行して行う、といった様々な対応力が求められる事を知ることができました。

今後日本では南海トラフ地震も危惧されており、今回の貴重な講演を通して学んだ事を胸に、災害時の自分の役割について考えていきたいと思えます。



第49回兵庫県医療職団体協議会合同研修会が開催されました

湊 宏美 会員 (兵庫県臨床検査技師会 広報部)

令和5年2月23日、兵庫県医療職団体協議会合同研修会が開催されました。今年度は作業療法士会の主催で行われ、11の医療職団体の方々が参加されました。主題はタスク・シフト/シェアとして、シンポジウムでは放射線技師会、臨床工学技士会、看護協会、そして臨床検査技師会の各先生方が、タスク・シフト/シェアの推進に伴って新たに加わった業務内容や各団体での取り組み、課題についてご紹介いただきました。基調講演では「組織で取り組むタスク・シフト/シェア～全職種を対象にした働き方改革だからこそ組織全体で業務の効率化を図る～」という演題について、市立野洲病院看護部長の小森先生がご自身の経験に基づいて講演されました。小森先生のご講演で印象的であったのは、病院全体で組織としてチーム医療・役割分担の推進、医師の働き方改革に取り組まれているというところでした。まずは全部門・全職種の課長職からなる全課長職会議を設置され、組織・人材管理・リーダーシップ論などをはじめ、問題解決の戦略、組織の課題抽出、働き方改革、タスク・シフト/シェアといったテーマについての議論を通じて組織として多職種連携・協働の基盤を構築されていました。タスク・シフト/シェアの取り組みについては各職種がどのように協力・分担すればよいか検討し、医師の勤務環境や業務状況を確認したうえで組織の課題を抽出し、単に医師の業務を多職種にシフトするという作業ではなく、プロトコル化・代行入力等の体系化に取り組み、組織全体として業務の効率化に取り組まれていました。

タスク・シフト/シェアの取り組みにより、新しい業務が増え、業務負荷がかかることの懸念もありますが、必要とされる業務や課題も施設によって大きく異なることから、病院全体で取り組む必要のある課題であると感じました。また自身の職種に対する業務に目が行きがちではありますが、他の職種の方々がどのような業務をされているのか、どこまでの業務が可能なのを知り、お互いの業務を少しずつカバーしあえることで、患者さんにとっても切れ目のない医療を提供できるのではないかと考えます。

2022年度タスク・シフト/シェア厚生労働大臣指定講習会を終了して

佐藤 伊都子 会員 (兵庫県臨床検査技師会 副会長)

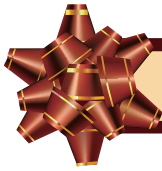
2022年度兵庫県開催のタスク・シフト/シェア厚生労働大臣指定講習会では、合計556名の方が受講修了されました。2月は定員割れになる可能性もございましたが、会員の皆さまのご協力が無事開催できたこと感謝申し上げます。2月に3回開催できたことで、兵庫県会員の年度末修了率は全国的にも遜色ない予想と安堵しております。

今回も講師スタッフを経験して感じたことを少しコメントさせていただきます。皮下グルコース検査のFreeStyleリブレセンサーは、水（水泳や入浴）より汗で剥がれやすいそうです。そのため、夏場は装着を避けることもあるそうです。吸引痰の目的も看護師とは異なります。看護師は患者さんを楽にさせることですが、臨床検査技師は痰を採取することです。患者さんの苦痛に繋がらないよう圧のかけ方などには特に注意が必要と感じました。患者さんが急変しないかドキドキですね。

臨床検査技師養成校では、既に法改正で拡大した業務内容の教育は始まっています。数年後の卒業生との業務格差をなくすためにも、会員の皆さまは早めにタスク・シフト/シェア厚生労働大臣指定講習会の受講をよろしくお願いいたします。

タスク・シフト/シェアに関する指定講習会受講状況

指定講習会 修了率 (2月3日時点)			兵庫県 (2月28日時点)		
日臨技会員	近畿支部会員	兵庫県会員	実技講習会 修了者	Web基礎講習 履修済	Web基礎講習 受講中
14.9 %	15.5 %	14.7 %	567人	163人	256人



第41回福見秀雄賞 授賞

鳥居 良貴 会員

長年当会で理事としてご尽力頂いた鳥居良貴会員が2022年3月31日、2022年度の「第41回福見秀雄賞」を受賞され、贈呈式が同年6月10日東京會館本館において開催されました。当会としても福見秀雄賞の受賞を心から嬉しく思っています。



タスク・シフト/シェア～一歩先の業務へ～ 術中モニタリング編

飛田 晴香 会員 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

術中モニタリング検査は脳や脊椎脊髄、大血管などの手術をする際、術中操作により脊髄や神経の圧迫、虚血、牽引などによって起こる神経機能障害をいち早く検出し、安全に手術を行うことを目的として実施します。

当院では脳神経外科、整形外科、心臓血管外科から依頼があり、年間で100件程度の術中モニタリング検査を実施しています。手術内容としては脊髄脊椎手術が最も多く、その他にも脳動脈瘤クリッピング術、脳腫瘍摘出手術、内頸動脈剝離術、大血管手術などがあり、治療目的にあわせて運動誘発電位(Motor Evoked Potential: MEP)検査、体性感覚誘発電位(Somatosensory Evoked Potential: SEP)検査、聴性脳幹反応(Auditory Brain stem Response: ABR)検査など様々な検査を行っています。

今回のタスク・シフト/シェアで検査技師による針電極を使用するMEP検査とSEP検査での電極の装着・脱着が可能になりました。タスク・シフト/シェア以前はシール電極で術中モニタリング検査を行う場合は検査技師が電極の装着・固定を行い、機器をセッティングし、術中のモニタリング検査を行っていました。しかし、針電極を使用する場合は医師が電極を装着し、検査技師は装着の補助と固定を行っていました。術中モニタリング検査におけるすべての業務を検査技師が行えるようになったことで、医師の業務軽減に貢献できると期待しています。

術中のモニタリング波形は手技の影響以外にも麻酔薬、手術時間、筋虚血、体温低下、アーチファクトの混入など様々な要因で変化します。手術室という普段、検査技師があまり立ち入ることのない場所でより良い検査を行うためには電極の装着や機器の設定を正しく行うことはもちろんのこと、オペレーター、麻酔科医、看護師とのコミュニケーションもとても大切であると感じています。



頭部電極の装着の様子

研究班

神原 雅巳 会員 (血液検査研究班)

血液

血液検査研究班の神原です。すでにご存知の方も多いと思いますが、造血器腫瘍・リンパ性腫瘍のWHO分類第5版の概要が2022年6月にLeukemiaとBloodに発表されました。第5版からはキメラ遺伝子の表記法が従来のBCR-ABL1からBCR::ABL1へと表記変更されるようです。その他、CMLの移行期の削除や、MDSはmyelodysplastic syndromesからmyelodysplastic neoplasmsに名称変更され、遺伝子異常で定義されるMDSと形態異常で定義されるMDSに大別されました。リンパ系腫瘍では、リンパ腫と鑑別が必要な反応性、良性疾患の領域が追加されるなど、このページでは書ききれない程の変更点があるようです。しかし驚くべきことに、WHO分類第5版が発表されるとWHO分類第4版の著者らによってBloodにICC (International Consensus Classification) 分類を発表しました。こちらはWHO分類第4版をもとに新たな知見や洞察から改編されているようです。今後の造血器腫瘍の診断にどのような分類が用いられることになるのか注視が必要です。一つどちらの分類にも共通して言えることは、遺伝子検査結果の重要性が高まっていることです。こういった背景から、数年前より血液検査研究班では遺伝子検査研究班と合同で研修会を開催しています。しかし、どのような遺伝子検査を選択するか判断は形態学によるところかと思えます。正しい検査を選択し不要な検査を省略できるそんな技師になれるよう回覧標本による症例検討会を開催しています。自施設ではなかなか出会うことのないような症例の標本が観察できます。鏡検力UPを目指している方は症例検討会に是非ともご参加ください。

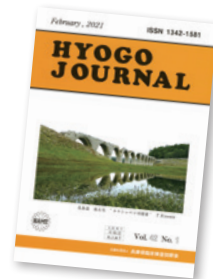
※執筆時(2月)の情報をもとに記載しています。この記事をお読みになっている時には正式版のWHO分類第5版が発刊され、さらに内容に変更があるかもしれません。

会誌「HYOGO JOURNAL」論文投稿のススメ——1

兵庫県臨床検査技師会では、会誌「HYOGO JOURNAL」の論文掲載を行っています。こちらで掲載された論文は、Medical Onlineから多くの方にも閲覧されます。是非とも、若手からベテランの方と幅広くご活用ください。

論文掲載に至るまでには、査読委員による査読・修正等の時間がかかるため、受験資格等で必要な場合はできるだけ余裕を持って投稿をお願いいたします。

※投稿規定：技師会HP▶兵臨技のご案内▶会誌「HYOGO JOURNAL」投稿規定



行事予定案内および求人情報は、ホームページに掲載しております。

右のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報





今回ご紹介するお店は阪神尼崎駅から南西に徒歩3分のところにある『地酒と串料理の下町酒場 こよみ』さんです。駅から南西のタワーマンションの裏手あたりにあり、周りには飲食店がいくつかあります。

カウンターとテーブル席が配置されており、飲み物を持ってきた際に「お疲れ様です!」と店員さんが明るく出迎えてくれる雰囲気の良いお店です。

名物はたくさんありますが、まずは鶏刺三点盛り(880円)とおでん大根の唐揚げ(248円)をいただきました。鶏刺は新鮮でとても美味しかったです。おでん大根の唐揚げは出汁のしみた大根に衣をつけて揚げてあり、外はサクッと中はおでんの出汁がじゅわっと出てきます。からしやショウガなどの薬味をつけて味変が出来てこの一品で何度も楽しめます!

また、お店の名前にもある通り串料理が名物で豊富な種類の定番の串カツと他では味わえない創作の串カツがあり、エビマヨの串カツ(180円)、カプレーゼの串カツ(150円)などどんな串カツが出てくると品物が出てくるまで楽しみでワクワクします。もちろん出てきた串カツはどれも美味しかったです!創作串カツは他にも牛すき焼きの串カツ(250円)や豆腐みそ田楽の串カツ(150円)など気になる品物がたくさんありました。

お店の店主さんは若くて気さくなお兄さんです。品物の説明も詳しくくださって、なにより話しかけやすくとても好印象でした。おいしいだけでなく楽しい時間も過ごすことができました。ありがとうございました。

《店舗情報》

店 名：地酒と串料理の下町酒場 こよみ
住 所：〒660-0868 兵庫県尼崎市西御園町115-2
T E L：06-7182-4784
営業時間：17:00~25:00
定 休 日：不定休



山本 成登 会員
(兵庫医科大学病院)



おでん大根の唐揚げ(248円)



エビマヨの串カツ(180円)

Canon



i が描く新たな地平。

Aplio i-series
Prism Edition

【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i900 TUS-AI900 【認証番号】228ABBZX00020000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i800 TUS-AI800 【認証番号】228ABBZX00021000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i700 TUS-AI700 【認証番号】228ABBZX00022000

J000160-01

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



SARSコロナウイルス抗原キット / インフルエンザウイルスキット

イムノエース® SARS-CoV-2 / Flu

体外診断用医薬品

製造販売承認番号30400EZ00008000

SARS-CoV-2
新型コロナウイルス

Flu
インフルエンザウイルス

1回の試料滴下 (3滴) で2項目を同時に検査
変異株との反応性を確認 (オミクロン株・デルタ株など)

※本製品添付文書およびタウンズ取得データ

【重要な基本的注意】

1. 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2感染、A型及びB型インフルエンザを否定するものではありません。2. 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
3. 検査に用いる検体については、厚生労働省より発表されている「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針」を参照してください。
4. 鼻咽ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
5. 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。
6. インフルエンザウイルスの検出については、非顕在期において、臨床性能試験が実施されておらず、製造販売後に臨床性能試験を実施することが承認条件とされています。そのため、インフルエンザウイルス感染の診断は、本品による検査結果のみで行わず、他の検査結果及び臨床症状を考慮し総合的に判断を行ってください。



製品概要

測定原理：免疫クロマトグラフ法

使用目的：鼻咽頭ぬぐい液又は鼻咽ぬぐい液中のSARS-CoV-2抗原、A型インフルエンザウイルス抗原及びB型インフルエンザウイルス抗原の検出 (SARS-CoV-2感染又はインフルエンザウイルス感染の診断の補助)

貯蔵方法：2～30℃で保存

イムノエース®SARS-CoV-2/Fluは、公立大学法人 横浜市立大学との共同研究をもとに開発しました。

製造販売元 **株式会社 タウンズ** 〒410-2325 静岡県伊豆の国市神島761番1
 お客様専用フリーダイヤル
 お問い合わせ ☎0120-048-489 受付時間 / 9:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)